



●タイムカプセル 1月15日(日) 南畑小学校

南畑小学校の卒業生が、20歳の再会を約束して校庭に埋めたタイムカプセルを掘り出しました。

カプセルの中には、当時の写真や成人した自分にあてた手紙、卒業時の手形・足形、2クラス全員の寄せ書きなどが入っていて、大きく成長した皆さんは、その一つひとつに歓声をあげ童心に戻っていました。

また、親が子どもたちに内緒で入れた『成人した我が子への手紙』も開封され、感動を呼びました。

平成24年成人式

小学校卒業

●セルビア共和国駐在日大使が来庁 1月10日(火)

友好姉妹都市のシャバツ市がある、セルビア共和国の角崎利夫日本国大使が来庁しました。

大使は、昨年末にシャバツ市で開催された日本週間イベントや、シャバツ市の現状などを詳しく報告しました。星野市長からは、シャバツ市からいただいた東日本大震災義援金1万ユーロ(約100万円)を、被災地4県(岩手県・宮城県・福島県・茨城県)へ送金した報告と御礼を述べました。

今年は姉妹都市締結30周年を迎える年であり、大使から「セルビア共和国大統領も日本からの訪問を期待しており、富士見市民のシャバツ市訪問をぜひ実現して欲しい。」との熱いメッセージを市長に伝えました。(写真左から2番目が角崎大使)



●パパと一緒にごはんをつくろう 1月29日(日)

鶴瀬西交流センター

育メン応援事業として行われているこの企画、13組の親子が参加しました。慣れているパパも、そうではないパパも「料理のできるパパってかっこいい!」



●キラリ☆新春邦楽演奏会 1月15日(日) キラリ☆ふじみ

箏や尺八、三味線、大正琴など幅広い演奏が披露されました。フィナーレは、恒例となった出演者全員の合奏による「さくら」で締めくくりました。



●新年賀詞交歓会 1月6日(金) キラリ☆ふじみ

実行委員会主催による富士見市新年賀詞交歓会が開催され、市内各界の方々が一堂に会し、新年を祝うあいさつを交わしました。



●歌会始めの選歌に

佐藤洋子さん(関沢在住)が皇居で行われる新春恒例「歌会始の儀」に招かれました。

一般応募1万8千首の中から選ばれたのは10人で、「長年の夢が叶いました。」と市長に報告していました。

お題「岸」
対岸の街の明かりのほの見える
隠岐の入り江の静かなる夜



●新春縄文マラソン大会 1月9日(祝) 水子貝塚公園

穏やかな晴天に恵まれ、今年も多くのランナーが参加して健脚を競いました。レースの後で富士見市体育協会の皆さんにより、温かい飲み物や「縄文なべ」が参加者に振舞われました。



●平和の鐘友の会解散式 12月25日(日)

市役所ロータリー入口にある「平和の鐘」は、平和の鐘建設委員会(当時)の方が募金を集め、1995年に戦後50周年を記念して建設されました。

以降16年間、友の会として、平和を願う市民と共に歩んできましたが、会員の高齢化などで会の維持が難しくなり、解散式を行いました。今後は

有志で集まり、8月15日の正午などに鐘を鳴らしていきます。

●全国大会出場激励会 1月23日(月)

島根咲さん(勝瀬中学校2年)が2年連続で全国中学校スキー大会への出場を決めました。

今年の大会は、東日本大震災の被災地(宮城県)で行われることもあり、「被災された方を勇気付けられるような粘り強い滑りがしたい。」と決意を述べていました。



●市内雪化粧 1月23日(月)

写真は24日早朝、新河岸川土手沿いから撮影した風景です。空気が澄み渡り、市名の由来でもある富士山がくっきりと見えました。